Interop Tokyo 2014 ほか5展示会

きょう開幕

千葉・幕張メッセで13日まで

「Interop Tokyo 2014」ほか全5展示会がきょうから13日までの3日間、千葉・幕張メッセで開催される。主催はIMC（Interop Tokyo 2014実行委員会。同時開催はIMC（Interop Tokyo 2014）「デジタルサイネージジャパン（DSJ）2014」「ロケーションビジネスジャパン（LBJ）2014」「アプリジャパン（APPS JAPAN）2014」の4展示会。開場時間は初日のきょうが10時半から18時まで（あす12日10時から18時まで。最終日13日は10時から17時まで）。入場料はウェブからの事前登録者は無料。当日券は5000円。

インターネット・デジタルメディア

21回目迎えた専門展

Interop Tokyoはインターネットとデジタルメディアの専門展である。タイトルのInteropは「Interoperability（相互運用性）」ということばが由来。21回目となる今回のINTEROP TOKYOのキャッチフレーズは「To the Next Connected World」である。

クラウドコンピューティングやモバイルコンピューティング、ワイヤレスシステム、データセンター、多機能携帯電話（スマートフォン）、携帯情報端末（タブレット端末）など、ビジネス、生活、社会を進化させる最新のハードウエア、ソフトウエア、技術、ソリューションが一堂に会す。

主催者側が注力テーマとして掲げているのは「クラウドコンピューティング」「ワークスタイル変革」「スマートデバイス対応」「無線LAN」「セキュリティリスク管理」「IoT／M2M」「仮想化」「次世代データセンター」「SDI／NFV」。来場者はパビリオンと展示会場内セミナーでこうした分野の最新情報を知ることができる。

中でも今回、特に注目したいのは「SDI」。ソフトウエアによる制御で実現する次世代ITインフラである。好評だった12年の「OpenFlow Showcase」、13年の「SDN ShowCase」の流れから、今年は次世代クラウド構築のための技術、ソリューションを紹介するためのデモンストレーション「SDI ShowCase」が展開される。出展各社による共同ライブデモンストレーション、オープンステージでのセミナー、展示コーナーで紹介するというものだ。

SDI ShowCase のオープンステージでは聴講料無料のセミナーが開催される

主催者企画 ShowNet

技術・市場見直し

幕張メッセイベント会場に構築されるライブネットワークの総称で、会場内ネットワーク相互接続による巨大なデモンストレーションを行うのが主催者企画の「ShowNet」。第1回開催から続くこのデモンストレーションはテーマに沿ってデザインされ、産学界から最先端技術・製品を持つ企業が参加。さまざまな機器・サービスを相互に接続して構築される。実際に動いている形で近未来のサービスアーキテクチャーを見ることができる、ネットワーク機器・技術における世界最大規模のデモンストレーションだ。

13年はInteropの20回開催、そして今年は英国の計算機学者であるティム・バーナーズ＝リー氏がインターネット上で提供されるハイパーテキストシステム、World Wide Web（WWW）を考案して25年だ。実行委員長の村井純氏はInteropの開幕に際したあいさつの中で、インターネット技術の節目となっているこのタイミングは我々がインターネット関連技術、市場などについての将来を見直す時期にあると語っている。

ShowNetの参加者も同様に考えているようだ。これから10年後の技術課題を見据え、まず3年間でShowNetの解体、再構築に挑戦していくという。そういった背景から、ShowNetのテーマは今後3年、〝Scratch and Rebuild the Internet〟を続けることになった。

今年はそれに加えて〝phase1:tough core, soft edge, for future apps〟を掲げる。10年後のインターネット構築に向けたフェーズ1として、「壊れないタフなネットワークの作り方」「フレキシブル、ソフトウエア化に向かうエッジテクノロジー」「未来のアプリケーションのための対応準備」という視点でメッセージを発信する。具体的にはケーブルや配線、空調・冷却といったファシリティー関連の課題解決策から、仮想化、クラウド間の接続などに取り組むという。

次世代ネットワークをみることができる形にするShow Net（13年のネットワークオペレーションセンター）

同時開催4展示会

「APPS」初開催

Interopと同時開催されるのが「IMC Tokyo 2014」「DSJ2014」「LBJ2014」と「APPS JAPAN 2014（アプリジャパン）」の4展示会。

「IMC Tokyo」は放送映像関係者や通信関連事業者を対象とした展示会。同展ではメディアコンテンツビジネスの最新動向を知ることができる。今年のキャッチフレーズは「未来のテレビはこうなる！」。主催者企画では「ブロードキャスターズイノベーション」でダブルスクリーン視聴、ソーシャルメディアとの連携、スマートテレビへの対応など、最新の放送サービスや技術的な取り組みを展示、紹介する。全国25局の放送局が実証実験に参加している放送局横断型セカンドスクリーン連携システムなどの紹介も行われる。

一方、店頭や街頭で販売促進活動や広告を展開できるデジタルデバイス「デジタルサイネージ」に特化した専門展が「DSJ」。ディスプレーからサイネージシステム、そしてコンテンツ関連までの最新技術・製品・サービスが紹介される。同展の今年のキャッチフレーズは「デジタルサイネージ 2020年に向けての新たな挑戦」。

「LBJ2014」は人やモノの位置、空間、地図などの情報を利用するロケーションビジネスがテーマ。スマートフォンやタブレット端末には位置センサーや全地球測位システム（GPS）が搭載されており、地図情報などと組み合わせて利用されるようになってきた。こうした背景から、ロケーションビジネスはこれから一層、進化していく。同展では位置、空間、地図などの情報を生活や社会に生かしていくための最新技術・サービス・製品が紹介される。

また、今回から開催されるのが「APPS JAPAN 2014」。スマートフォンやタブレット端末（携帯型情報端末）で利用が拡大しているアプリ。その多彩なアプリの世界を体感することができるという。

「Interop Tokyo」など全5展示会ではセミナー、コンファレンスが充実している。事前申し込みで満席になっている講演もあるので、注意が必要。詳細、内容の確認、スケジュールなどは同展のウエブサイト（http://www.interop.jp/2014/）へ。

To the Next Connected World

新しい社会を創造する場に

Interop Tokyo
実行委員長
慶應義塾大学 環境情報学部
学部長・教授
村井　純

Interop Tokyoは昨年、記念すべき開催20回という節目を迎えました。また、ことしはティム・バーナーズ＝リー氏がWorld Wide Webを考案してから25周年という年でもあります。このような歴史的節目を経て、私たちはあらたな10年、20年先を見据えた「新しいインターネット」「新しいテクノロジー」「新しい市場」に関する議論を継続していく必要があります。

本イベントは、インターネットとデジタルメディアの専門イベントとして、Interopの名前の由来通り「Interoperability（相互運用性）」をテーマに、最先端の機器、技術、サービスが一堂に集まり、その具体的なビジョンと出会えるイベントとして開催されてきました。この一貫した取り組みを通して、専門家、ジャーナリスト、そして一般のユーザーに長く愛され、日本のインターネットの発展とともに歩んできました。このInteropの歴史の中で、インターネットとデジタルメディアのInteroperabilityに関する技術的な課題を関係者で力を合わせて解決し、その成果をお見せしてきました。しかし、この分野の技術は日進月歩で発展し、成長します。

昨今のスマートデバイスやIoT（Internet of Things）の普及に伴ってインターネットと人々の距離感が数年前とは全く違ったものになりました。それに伴ってインターネットが担う責任、期待される役割も変わってきております。また2020年までには500億デバイスがインターネットにつながるという予測も出ている中、私たちは社会基盤としてのインターネットの進化すべき姿を考え続けていかねばなりません。そして同じく2020年には東京オリンピックの開催も決定し、わが国のインターネットは国際社会から未だかつてない期待がかかります。Interopは、このような新しい課題に挑戦し続け、参加者とともに新しい社会を創造する場であり続けることでしょう。

Interop Tokyoの場が「今」の挑戦への成果を披露することに加えて次の時代を見据えたカタチビジョンを議論する場、体験できる場となり、そして参加者すべてのあらたな扉を開く場になることを楽しみにしています。

To the Next Connected World
展示会入場料 5,000円(税込) Webからの事前登録で 無料

INTEROP®
TOKYO | 11－13 JUNE, 2014
インターネットでつながる世界は“無限大”へ
国内最大級のITテクノロジーイベント
会期 2014年6月11日(水)～13日(金)
6月11日(水)10:30～18:00／6月12日(木)10:00～18:00
6月13日(金)10:00～17:00
会場 幕張メッセ（国際展示場）
カンファレンス／9日、10日 AP品川にて開催!
主催 Interop Tokyo 実行委員会　運営 一般財団法人インターネット協会／株式会社 ナノオプト・メディア　特別協力 WIDEプロジェクト　後援 各関係省庁・関係団体
同時開催 IMC TOKYO 2014 Interop Media Convergence / DSJ2014 デジタルサイネージ ジャパン / Location Business Japan 2014 / APPS JAPAN アプリジャパン2014
http://www.interop.jp/　インターロップ　検索
お問い合わせ 登録事務局／june-info@f2ff.jp（Interop Tokyo・IMC Tokyo・デジタルサイネージ ジャパン・ロケーションビジネス ジャパン・アプリ ジャパン共通）
Copyright(C)2014 NANO OPT Media,Inc. All rights reserved.